



## 第5次松本市男女共同参画計画を策定しました

### ～自分らしく生きるジェンダー平等のまち～

松本市ではこの度、第5次となる「男女共同参画計画・女性活躍推進計画」を策定しました。

これまでの計画としては初めて、キャッチフレーズを付け、皆さんに親しみやすさを感じてもらえるよう心がけています。どんな中身になっているのでしょうか。



#### 前の計画との違いは？

第4次計画		第5次計画
基本構想2020 「健康寿命延伸都市」	目指す姿	基本構想2030 「豊かさ幸せに挑み続ける三ガク都」
地域づくりとの連携、地域における男女共同参画を通して地域性、特性を活かす	特徴	多様性の視点を加え、誰もが性別にとらわれず、自分らしく安心して暮らせる社会を目指す
なし	キャッチコピー	自分らしく生きる ジェンダー平等のまち

#### 第5次計画の主なポイント

【計画期間】令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度)

#### 男女がともに

#### 創りあげるまち

- ★ 政策・方針決定過程の女性参画
- ★ 就労支援とワーク・ライフ・バランスの推進

#### 誰もが安心安全に

#### 暮らせるまち

- ★ 人権尊重と人権侵害の防止
- ★ 生涯を通じた健康支援

#### 一人ひとりが未来に

#### つなげるまち

- ★ 将来の基盤づくり（思春期からのジェンダー平等の視点の育成）
- ★ 選ばれるまちづくり

#### 私たちが目指す市役所

- ★ 市役所におけるジェンダー平等の取組み



「第5次松本市男女共同参画計画」の詳細については、松本市ホームページで全文をご覧ください。

## ジェンダー平等の扉を開いた偉人紹介

Vol.9

ジェンダー平等に尽力した日本の偉人をご紹介します

### はに 羽仁 もと子 (1873~1957)

記者、教育家、婦人之友社創立者

女性を募集していない就職先に対して、諦めない精神で自分の才能を売り込み、日本で最初の女性記者となった。実生活に密着した問題をテーマに『家庭（婦人）之友』を発行し、愛読者を増やしていった。

女子教育の必要性も感じ、夫婦で「自由学園」という学校や、女性団体「全国友の会」を立ち上げた。



今月知っておきたい言葉

## マンスプレイング

Man（男）と explain（説明する）を組み合わせた造語で、男性が女性に対して偉そうに説明することを指す。

「女性の君にはわからないかもしれないけど・・・」という言葉が典型。

女性は男性より物事を知らないだろうという思い込みからくるもの。

SNSで広がり、2018年にはオックスフォード英語辞典に掲載された。



## 新着図書のご紹介



パレア松本には図書コーナーがあります。どなたでも自由に本を読んだり、借りたりすることができます。



### 『新装版はじめてパパになる本』

（今田義夫・貝嶋弘恒監修、実業之日本社、2022年）

男性の育児休業取得が進んでいますが、「子育て何をどうしたらいいかわからない」という方もいらっしゃるはず。妊娠発覚から子どもが3歳になるまで、パパがすべきことが具体的なイラスト共に紹介されています。

### 『フィンランド幸せのメソッド』

（堀内都喜子著、集英社、2022年）

「幸福度ランキング」をはじめ各方面で高い評価を受ける小国フィンランドも、昔から今のような状況だったわけではありません。現在の環境に至った背景には「人こそ資源」という考え方が流れています。



このニュースレターは、松本市公式ホームページでも見ることができます。

**Facebook、Twitter もやっています！**

松本市女性センター



＜編集・発行＞

松本市 人権共生課（松本市女性センター）

〒390-0811

松本市中央 1-18-1 Mウイング3階

TEL 0263-39-1105 /FAX 0263-37-1153

✉ [kyousei@city.matsumoto.lg.jp](mailto:kyousei@city.matsumoto.lg.jp)